

2021年4月30日（金）
愛知県農業水産局農政部農業振興課
野生イノシシ対策室
経ロワクチン対策グループ
担当 小出、城田
内線 5200、5203
ダイヤル 052-954-6725

野生イノシシにおける豚熱ウイルスの浸潤状況調査の結果について

愛知県では、豚熱の発生を防止するために、2019年3月から野生イノシシへの経ロワクチンの野外散布を実施するとともに、野生イノシシから検体を回収し遺伝子検査^{※1}及び抗体検査^{※2}を行うことで、野外における豚熱ウイルスの浸潤状況を調査しています。

この度、2021年1月から3月までの調査結果をとりまとめましたので、お知らせします。

1 調査結果について（詳細は裏面の表参照）

（1）豚熱に感染したイノシシの状況について

2021年1月から3月までの検査頭数（遺伝子検査の結果が判明したイノシシの頭数）は102頭で、全頭で感染は確認されませんでした。

また、2020年度の県全体の検査頭数に占める感染頭数の割合は0.9%で、2019年度の8.7%と比べ、低くなっています。

なお、直近の豚熱に感染したイノシシの発生事例は、豊橋市内で2020年10月15日に捕獲されたイノシシです（2020年10月23日発表済。）。

（2）豚熱の免疫を獲得したイノシシの状況について

2021年1月から3月までの検査頭数（遺伝子検査と抗体検査の両方の結果が判明したイノシシの頭数）は92頭でした。そのうち、免疫獲得頭数は29頭でその割合は31.5%でした。

また、2020年度の県全体の検査頭数に占める免疫獲得頭数の割合は、32.1%で、2019年度の16.9%と比べ、高くなっています。

※1 「陽性」であれば豚熱に感染しており、「陰性」であれば感染していない。

※2 「陽性」であれば豚熱に対する免疫を獲得しており、「陰性」であれば獲得していない。

2 地域ごとの調査結果（調査期間：2021年1月～3月）

（1）豚熱に感染したイノシシの状況について

上段は感染頭数/検査頭数 (下段は割合)	県全体	地域別		
		尾張	西三河	東三河
今回結果 1月～3月	0頭/102頭 (0.0%)	0頭/45頭 (0.0%)	0頭/29頭 (0.0%)	0頭/28頭 (0.0%)
(参考) 2020年度 4月～3月	8頭/887頭 (0.9%)	1頭/246頭 (0.4%)	3頭/462頭 (0.6%)	4頭/179頭 (2.2%)
(参考) 2019年度 4月～3月	118頭/1,364頭 (8.7%)	20頭/168頭 (11.9%)	77頭/642頭 (12.0%)	21頭/554頭 (3.8%)

注1) 感染頭数は、検査頭数のうち、遺伝子検査が「陽性」の頭数を集計したものです。

注2) 検査頭数は、各市町村の散布期間中及び最終散布日から14日間を除いた期間に回収された野生イノシシのうち、発見日を基準として、遺伝子検査の結果が判明した頭数を集計したものです。

（2）豚熱の免疫を獲得したイノシシの状況について

上段は免疫獲得頭数/検査頭数 (下段は割合)	県全体	地域別		
		尾張	西三河	東三河
今回結果 1月～3月	29頭/92頭 (31.5%)	9頭/37頭 (24.3%)	8頭/27頭 (29.6%)	12頭/28頭 (42.9%)
(参考) 2020年度 4月～3月	250頭/778頭 (32.1%)	70頭/222頭 (31.5%)	126頭/393頭 (32.1%)	54頭/163頭 (33.1%)
(参考) 2019年度 4月～3月	214頭/1,270頭 (16.9%)	97頭/161頭 (60.2%)	92頭/602頭 (15.3%)	25頭/507頭 (4.9%)

注1) 免疫獲得頭数は、検査頭数のうち、遺伝子検査が「陰性」かつ抗体検査が「陽性」の頭数を集計したものです。

注2) 検査頭数は、各市町村の散布期間中及び最終散布日から14日間を除いた期間に回収された野生イノシシのうち、発見日を基準として、遺伝子検査と抗体検査の両方の結果が判明した頭数を集計したものです。

【今回の調査期間中、検査を実施した野生イノシシの検体が回収された市町村】

- ・尾張地域：瀬戸市、春日井市、犬山市、小牧市
- ・西三河地域：岡崎市、豊田市
- ・東三河地域：豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市

野生イノシシの豚熱検査結果と豚熱浸潤状況調査結果については、以下の愛知県農業振興課Webページにて公表しています。

URL：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/nogyo-shinko/kensa.html>